

2019年10月30日

## 原料費調整制度に基づく2019年12月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2019年12月検針分の単位料金を、2019年11月検針分と比べ、1m<sup>3</sup> (45MJ)につき0.09円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2019年7月～2019年9月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2019年11月検針分と比較して、3円(消費税込)ガス料金が下がります。

2019年12月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m <sup>3</sup>	料金表B 23～223m <sup>3</sup>	料金表C 224m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	120.82	113.45	106.08
(参考) 11月 調整単位料金	120.91	113.54	106.17

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2019年 11月	2019年 12月	増減
適用料金(円/月)	4,784	4,781	▲ 3

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2019年6月～2019年8月の平均 (11月検針分)	2019年7月～2019年9月の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	25,650	25,510	▲140
LNG	54,070	54,050	▲20
LPG	48,200	44,500	▲3,700
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲1,700	▲1,800	▲100

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 54,050 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 44,500 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 25,508.62$$

↓(10円未満四捨五入)

$$25,510 \text{ 円/t}$$

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$25,510 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \text{▲}1,840 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$\text{▲}1,800 \text{ 円/t}$$

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \text{▲}1,800 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\ &= \text{▲}1.55 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2019年 11月	2019年 12月	増減
適用料金(円/月)	4,784	4,781	▲3

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(115.00円)} + \text{▲}1.55 \text{ 円} \times 34\text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑      ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。